

「出題の意図」

選抜区分	平成 31 年度 （選抜区分：一般選抜後期日程） 国際環境工学部 建築デザイン学科（科目名：面接）
出題の意図 （評価のポイント）	<p><面接の意図・ねらい></p> <p>グループ面接および個別面接・口頭試問を行った。 グループ面接は受験生を 4～5 名程度のグループに分けて行った。</p> <ul style="list-style-type: none">・古いまちなみを守るべきか、新しいまちなみをつくるべきかに関する問題・他の受験生の意見について質問し、回答を求めた。 <p>個別面接・口頭試問では、</p> <ul style="list-style-type: none">・自己 PR およびその内容・高校生と大学生の違いについて・20 年後の住宅の姿について <p>について質問し、回答を求めた。 これらの質問を通じて受験生の思考力および意欲などを確認した。</p> <p><受験生の特徴と傾向></p> <p>グループ面接</p> <p>古いまちなみを守るべきか、それとも新しいまちなみをつくるべきか、というどちらが正しいとも言えない問いについて質問を行った。回答は古いまちなみを守るべきという意見がやや多い傾向にあった。ディスカッションでは、積極的に自身の考えを述べ、そして他の受験生の意見に寄り添う受験生が多くみられた。また、自身の出身地を例にした回答が多々見られた。</p> <p>個別面接・口頭試問</p> <p>質問に対して自らの考えを整理し、回答がなされていた。一方で、高校生と大学生の違いに関する出題では、想定外の質問にうろたえる受験生も少なくなかった。そこで冷静に立ち返り、自身の考えを丁寧に回答している者もいた。20 年後の住宅の姿については、エネルギーに関する対応について述べる受験生が多く、中にはロボットとの調和についても回答がなされていた。</p>